

国内実態調査報告書

テーマ : 演習Ⅰ
ゼミ名 : 辻野 幸子 ゼミ
調査日 : 2025年8月26日(火)~8月28日(木)
調査先 : 株式会社ラウンドワン、株式会社大阪取引所、株式会社 KPMG FAS 大阪事務所
授業科目名 : 演習Ⅰ、Ⅱ
参加学生数 : 8名(3年生)

調査の趣旨(目的)

以下の3点を目的として実施した。

- ・ゼミのテーマである IFRS 会計基準を今年3月期に導入された株式会社ラウンドワン本社を訪問し、普段の授業では学ぶことが難しい IFRS 会計基準導入の実務について総合的な理解を深めること
- ・デリバティブ専門市場である大阪取引所の見学を行うとともに、証券市場の基本的な仕組みと機能についての理解を深めること
- ・多様なアドバイザリー業務を提供する KPMG FAS 大阪事務所を訪問し、その業務内容や業界で求められる会計人材全般についてお話を伺い、学生が今後のキャリア形成を考えるうえでの一助とすること

調査結果

- ・株式会社ラウンドワン本社訪問

事前学習

学生は、①ビジネス・戦略、②IFRS 会計基準導入に関する株式会社ラウンドワンからの公表資料、③プロジェクトの進め方の3つの班に分かれ、それぞれの担当分野について調査し、国内実態調査1日目にその成果を発表し合い、訪問先に対する理解を深めた。

また、プロジェクトの進め方について、より興味と目的意識をもって聞き取り調査を行うことを目的として、日本基準を適用している企業が IFRS 会計基準を適用するために具体的にどのような作業を行う必要があるのか、ロードマップとその具体的な内容についてディスカッションを行い、自分たちなりの作業計画(3年間のプロジェクトを想定)を作成し、翌日の訪問先での聞き取り内容と比較することとした。



企業訪問

株式会社ラウンドワンにおいて IFRS 会計基準導入プロジェクトを主に担当された管理本部次長の安井雅人様と管理本部主任の小村莉子様から、自己紹介の後、IFRS 会計

基準に変更した理由、プロジェクトの進め方、IFRS 会計基準導入の効果についてご説明いただいた。特に、プロジェクトの進め方については、フェーズごとに実務上論点となった事項について具体的にご説明いただくとともに、実際の作業内容のサンプルも見せていただき、実務経験に乏しい学生にも分かりやすくご講義いただいた。学生からは、座学では学ぶことのできない実務のイメージが鮮明になった、膨大で複雑な作業が必要なことがよく分かった、との意見が多く聞かれた。学生にとって、会計基準を変更することがいかに大きなプロジェクトであるかを理解する良い機会になったと考える。

さらに、お二人のご経験を踏まえた会計分野でのキャリアについてもお話をいただいた。学生からは、仕事に対する熱意と誇りが強く印象に残った、経理という仕事は数字を作るだけではなく経営とも深く関わる仕事であることが分かった等の意見が多く聞かれ、学生が今後の会計分野でのキャリアを考える上で、多大な示唆をいただいた。



・株式会社大阪取引所訪問

日本取引所グループのうちデリバティブ市場を運営する大阪取引所を訪問し、金融リテラシーサポート部課長の岩崎恒平様に、学生向けに証券市場の基本的な仕組みと機能についてご講義いただいた。具体的には、証券市場の仕組みのほか、JPX がグループ全体で提供している総合的な市場取引サービス（上場審査、上場管理、売買監理、売買審査、清算、決済）や収益構造などについて丁寧にご説明いただき、証券取引所が取引の場を提供しているだけでなく幅広いサービスを提供することで市場を支えていることの理解につながった。

また、1階のアトリウム及びエントランスの前にある五代友厚像、5階の展示物等について、岩崎様にご説明いただきながら見学した。昔の株主名簿や取引所設立趣意書等の史料を見学したほか、立会所で用いられていたハンドサインや、江戸時代に堂島米市場の相場伝達のために使われた「旗振り通信」等、大変興味深いお話を伺った。



今回の訪問により、取引所の歴史と現在の仕組みについて楽しく学びつつ理解を深めることができた。

・株式会社 KPMG FAS 大阪事務所訪問

商学部の場合、監査法人がどのような組織であるか知っている学生も多いが、アドバイザリーとなると具体的なイメージがつかめない場合も多いものと考えられる。そこで、株式会社 KPMG FAS 大阪事務所にお伺いし、アドバイザリーファームにおいてどのような業務が提供されているか、実態調査を実施した。当日は、株式会社 KPMG FAS の執行役員パートナー

であり大阪事務所長である佐藤奈緒様、執行役員パートナーの太田壯一様、ジュニアアソシエイトの高橋夏帆様、ジュニアアソシエイトの中村嘉様にご対応いただいた。

まず、太田様から KPMG FAS で提供されている具体的なアドバイザリー業務（経営戦略、M&A/PMI、事業再生・事業変革、フォレンジック等）についてご説明いただいた。次に、若手コンサルタントである高橋様・中村様から、就活時や事務所に入所してからのご経験等についてお伺いした。

今回の訪問により、アドバイザリー業務と一口に言っても様々な分野があり、多岐にわたる経営課題を解決する総合コンサルティングサービスを提供していることが理解できた。また、新卒からアドバイザリー業務に従事する選択肢もありうることや、公認会計士以外の人材も多く活躍されていること等について分かりやすくご説明いただいた。業界に求められる資質として、チームとしての協動力、学習意欲及び問題提起力が重要というメッセージは、学生が今後キャリアを考える上で非常に重要な指針になるものと考える。



・2025年日本国際博覧会（万博）訪問

最終日は、生きたグローバルな知識と視点を養うことを目的として、全員で万博を訪問した。異文化交流は、異なる文化への理解と尊重の気持ちを深めることに役立ち、将来グローバルな世界で活躍するための基礎に資すると考えられる。また、多くのパビリオンでは、最先端の科学技術や未来社会のビジョンが提示されており、イノベーションへの刺激等も期待できる。

学生からは、それぞれの国ならではの文化や価値観に触れられたのが新鮮だったとの意見のほか、万博の経済効果や世界の多様性についてあらためて考えたとの意見があった。

今回の国内実態調査は、授業で学んだ理論（知っていること）と実務（使うこと）の違いについて意識する良いきっかけになったものと考える。また、働く人々が持つ仕事に対する熱意やプロフェッショナリズムに接することができたのも、学生にとって非常に貴重な経験となったことであろう。